

News Release

エア・カナダ、 ランドラインとの提携によるラグジュアリーバスサービスを拡大 トロント・ピアソン国際空港とオンタリオ州 3 地域を結ぶ接続サービスを強化

エア・カナダは、2026 年 3 月 12 日（モントリオール現地時間）、Landline 社との提携契約を更新し、同社が提供するラグジュアリーバスサービスを拡大して、オンタリオ州ナイアガラ、サーニア、マスコーカの 3 地域とトロント・ピアソン国際空港を結ぶ新たなアクセスを、2026 年 6 月 15 日より提供開始することを発表しました。また、キングストンおよびキッチナー・ウォーターラーを結ぶ既存のバスサービスにおいても運行本数を増加します。

今夏、Landline はトロント・ピアソン国際空港とオンタリオ州 6 地域を結ぶ、1 日 26 便の運行を予定しており、地域の交通利便性向上とエア・カナダのグローバルハブへのネットワーク強化につながります。

エア・カナダ リージョナル・エアライン & マーケット担当ディレクターのランビール・シンは次のように述べています。

「エア・カナダは、Landline のラグジュアリーバスサービスが非常に好評を得ている点を大変心強く感じています。このサービスは、航空便とバスを組み合わせた、いわゆるインターモーダル（複合一貫）輸送の利便性を活かし、当社ネットワークの利便性を地域コミュニティへと広げるものです。お客様には、Landline の上質で快適な車内設備をご好評いただいております。トロント・ピアソン国際空港と地域空港をシームレスに乗り継いでいただくことが可能です。今回、ナイアガラ、サーニア、マスコーカを新たに加えることで、住民の皆様の利便性はさらに高まるほか、世界中からの観光やビジネス、個人旅行の利用者の受け入れが促進され、地域経済にも大きく寄与するものと期待しています」

Landline コマーシャル担当バイスプレジデント、ニック・ジョンソン氏は次のように述べています。「エア・カナダとの関係をさらに拡大できることを誇りに思います。ナイアガラ、マスコーカ、サーニアといった地域も、短距離乗り継ぎ便と同じように簡単に予約でき、シームレスな旅程管理、ロイヤルティポイント獲得、一連の旅程保証などのサービスをご利用いただけます」

オンタリオ州観光・文化・ゲーミング担当大臣、スタン・チョー氏は次のように述べています。



Best Airline
in North America

STAR ALLIANCE 

「今回のサービス拡大により、オンタリオ州内でも特に人気の高い目的地へのアクセスが向上し、地域間の接続性が強化されます。ナイアガラ、マスコーカ、サーニアへのアクセス向上を通じて、オンタリオが誇る世界水準の観光体験をより多くの方々に楽しんでいただけるようになります」

シームレスで快適な移動体験を提供

対象地域から出発するエア・カナダ利用者は、地域空港で通常どおりチェックインし、旅程全区間の搭乗券を受け取り、手荷物は最終目的地までタグ付けされます。トロント・ピアソン国際空港到着後は、手荷物預けエリアを経て保安検査場へ向かい、接続便へ搭乗可能です。

Landline が運行するエア・カナダブランドのバスは、ケベック州の Prevost 社が設計・製造した車両を使用し、広々としたレザーシート、無料 Wi-Fi、電源コンセント、モビリティサポート対応など、プレミアムな設備を備えています。地域空港とトロント・ピアソンを結ぶノンストップ運行を一日複数回行い、搭乗券・手荷物タグ発行、旅程保証、Aeroplan ポイント加算など、航空便と同様の利便性を提供します。バスまたは航空便に遅延が発生した際も、Landline 利用旅程は航空便のみの旅程と同様の保護が適用されます。Aeroplan 会員は、地上区間および航空区間の両方でポイントを獲得できます。

ナイアガラ・フォールズでは、サービスがナイアガラ・ディストリクト空港から延伸され、滝のすぐそばに位置する「ナイアガラ・フォールズ・マリOTT・オン・ザ・フォールズ」での乗降が可能となります。これにより、エア・カナダの世界的ネットワークから、カナダ屈指の観光地にあるホテルまでシームレスに移動できます。

Landline 運行スケジュール

トロント・ピアソン国際空港とナイアガラ、サーニア、マスコーカを結ぶ新しい Landline サービスは、2026 年 6 月 15 日に運行を開始します。すでにトロント・ピアソン発着のエア・カナダ便をご予約済みのお客様は、4 月 30 日までにコンタクトセンターにご連絡いただければ、追加料金なしで Landline 区間を旅程に組み込むことができます。

また、キングストン行きは 2026 年 5 月 1 日より、キッチナー行きは同年 6 月 15 日より、1 日 2 往復が追加されます。2026 年夏季の Landline 運行スケジュールは以下のとおりです。

地域	空港	1 日あたりの往復便数
ハミルトン	ジョン・C・マンロ・ハミルトン国際空港 (YHM)	5
キングストン	キングストン・ノーマン・ロジャース空港 (YGK)	4
キッチナー・ウォータールー	ウォータールー地域国際空港 (YKF)	12
マスコーカ	マスコーカ空港 (YQA)	2
ナイアガラ	ナイアガラ・ディストリクト空港 (YCM)	3
サーニア	サーニア・クリス・ハドフィールド空港 (YZR)	2*

* サーニア発着サービスは、ウォータールー地域国際空港 (YKF) を経由して運行されます。



エア・カナダについて

エア・カナダはカナダ最大の航空会社であり、同国のフラッグキャリア、そして世界最大級の航空ネットワークであるスターアライアンスの創設メンバーです。本社はモントリオールにあり、カナダ、アメリカ、そして世界 6 大陸にわたる国際線を含む 180 以上の空港へ定期便を運航しています。また、スカイトラックス社より 4 つ星の評価を獲得しており世界的にも高い評価を受けています。エア・カナダの「アエロプラン」プログラムは、カナダを代表する旅行ロイヤルティプログラムであり、世界中に 1,000 万人以上の会員を擁しています。会員は、世界最大の航空会社ネットワーク(45 社)に加え、幅広い商品、ホテル、レンタカーのパートナーを通じてポイントを獲得・利用できます。エア・カナダは「エア・カナダ バケーションズ」を通じて、他のカナダの旅行会社を凌ぐ豊富な選択肢を提供し、世界中の数百の目的地にホテル、航空券、クルーズ、日帰りツアー、レンタカーなどを組み合わせた幅広い旅行商品を取り揃えています。貨物部門である「エア・カナダ カーゴ」は、旅客機および貨物専用機を活用し、6 大陸にわたる数百の目的地への航空貨物輸送と接続を提供しています。エア・カナダは、気候関連の取り組みとして、2050 年までに温室効果ガス排出量をネットゼロにするという長期的な目標を掲げています。詳細については、[エア・カナダの気候関連財務情報開示タスクフォース\(TCFD\)報告書](#)をご覧ください。エア・カナダの株式は、カナダの TSX(トロント証券取引所)および米国の OTCQX(店頭市場)に上場されています。

